

## 2023年3月期 第1四半期 業績ハイライト資料

株式会社アクセスグループ・ホールディングスは、2023年3月期 第1四半期（2022年10月1日～2022年12月31日）の業績を発表しましたので、その概況について補足説明をいたします。

- **売上高 875 百万円（前期比+29.3%）。プロモーション支援事業・採用支援事業が想定以上の進捗。**
  - ・プロモーション支援事業、前期比+40.4%。官公庁とキャンペーンの事務局代行、集客プロモーションが伸長。
  - ・採用支援事業は、同+41.2%。対面型企画が復調、採用業務代行、新卒紹介が結実し大幅に増収。
  - ・教育機関支援事業は、同△11.6%。寄付・募金プロモーション伸長も、大学向け職域接種代行案件が減少。
- **営業利益 △16 百万円（前期比+93 百万円\*）。営業赤字は大幅に改善。**
  - ・プロモーション支援事業は、20 百万円（前期比+394.1%）\*。売上高の要因と連動。
  - ・採用支援事業は、10 百万円（同+65 百万円）\*。高利益率の新卒向け人材紹介が収益改善に寄与。
  - ・教育機関支援事業は、△55 百万円（同△4 百万円）\*。大学の職域接種案件による減少も想定通り推移。
- **通期（2023年3月期 今期に限り半期決算）の業績予想は据え置き。**
  - ・通期売上 18.3 億円、営業利益 0 の見通し。業績の季節変動あり、例年、当該期間は営業赤字を計上。
  - ・採用活動、教育機関の予算執行時期を鑑み決算月を変更。今期は22年10月～23年3月までの6ヵ月。
  - ・前期第二四半期累計は△69 百万の営業赤字。今期は期間内での営業黒字化を目指す。
  - ・株主優待制度「プレミアム優待倶楽部」を拡充。毎年3月末時点で3単元（300株）以上保有の株主様にポイント進呈。中長期保有の株主様に積極的に還元。

（百万円未満切捨）

## 1. 第1四半期累計期間 連結業績概況

※単位：百万円。百万円未満切捨

連結業績	2022年9月期 第1四半期累計期間	2023年3月期 第1四半期累計期間	増減率
売上高	677	875	29.3%
営業利益	△109	△16	—
経常利益	△117	△19	—
親会社株主に帰属 する四半期純利益	△118	△20	—

## 2. 第1四半期累計期間 セグメント別売上高

※単位：百万円。百万円未満切捨

分野別売上高	2022年9月期 第1四半期累計期間	2023年3月期 第1四半期累計期間	増減率
プロモーション支援事業	336	472	40.4%
採用支援事業	193	272	41.2%
教育機関支援事業	147	129	△11.6%
合計	677	875	29.3%

※上記数値には、「セグメント間の内部売上高又は振替高」は含んでおりません。

### 3. 第1四半期累計期間 セグメント別利益

※単位：百万円。百万円未満切捨

セグメント別 利益又は損失	2022年9月期 第1四半期累計期間	2023年3月期 第1四半期累計期間	増減率
プロモーション支援事業	4	20	394.1%
採用支援事業	△54	10	—
教育機関支援事業	△51	△55	—
調整額	△8	8	—
合計	△109	△16	—

### 4. 第3四半期累計期間の業績補足説明

#### 【売上面の補足説明】

連結売上高は 875 百万円（前年同期比 +29.3%）となりました。

プロモーション支援事業では、店舗集客プロモーションが復活、官公庁やキャンペーンの事務局代行が想定を上回って推移しました。また、住宅不動産分野、自動車関連分野の引き合いも増加しました。

採用支援事業では、2023 年入社の採用人数不足を背景に、合同企業説明会などの連合企画が復調したほか、採用業務代行、新卒紹介などの個別案件が伸ばし、想定を上回って推移しました。

教育機関支援事業では、寄付・募金プロモーションが伸ばしましたが、大学のワクチン職域接種会場運営の減少が影響し減収となりました。しかし、この影響は期初より見込んでおり、想定通りの推移となりました。

#### 【損益面の補足説明】

連結営業利益は△16 百万円（前年同期は△109 百万円）となり大幅に改善しました。プロモーション支援事業、採用支援事業が想定を上回って推移しています。

プロモーション支援事業では、売上面に連動した損益水準となっています。官公庁からの受託は利益率がやや低い傾向となっていますが、売上増に連動して利益増となりました。

採用支援事業では、利益率の高い合同企業説明会などの連合企画と新卒紹介が結実し収益性は向上しました。採用業務代行や自治体からの受託事業は利益率が低い傾向となりますが、想定通りの損益で推移しセグメント利益を確保しています。

教育機関支援事業では、大学のワクチン職域接種会場の減少による減収がありましたが、利益率は低い傾向となっており、損益面での影響は少ない結果となりました。

### 5. 通期 連結業績の見通し

2023 年 3 月期第 1 四半期は、期初の想定を上回って推移しており、2022 年 11 月 11 日に公表いたしました連結業績予想を据え置いております。

※単位：百万円。百万円未満切捨

連結業績	2022年9月期 第二四半期	2023年3月期通期 (予想)
売上高	1,660	1,830
営業利益	△69	0
経常利益	△83	△14
親会社株主に帰属する 四半期純利益	△85	△17
1株あたり 当期純利益	△71円21銭	△14円22銭

## 6. 決算期（事業年度の末日）の変更について

2022年12月26日開催の第33回定時株主総会で「定款の一部変更の件」が承認されたことを受け、当期より決算期（事業年度の末日）を9月30日から3月31日に変更いたしました。これに伴い、決算期変更の経過期間となる当連結会計年度は2022年10月1日から2023年3月31日までの6ヵ月決算となっております。

昨今の採用活動の時期や、教育機関の予算執行時期などの昨今の状況を鑑みた結果、事業年度末日を3月31日とすることが合理的であると判断しております。

## 7. 業績の季節変動要因について

当社グループの業績は季節変動要因を抱えており、当第1四半期連結累計期間の業績において、営業損失が生じております。2022年11月11日に公表した通期の連結業績予想は、下記の傾向を踏まえた予想となっております。

### 【季節変動要因】

教育機関支援事業：進学説明会の開催や学校のプロモーション活動が増加する4月から6月頃にかけて売上が集中する傾向。

このため、6ヵ月決算となる2023年3月期は教育機関支援事業の売上集中期の前に期末を迎えることとなるため、通期の連結業績見通しはこれらを踏まえた予想となっております。

## 8. 配当予想

2023年3月期の配当は、売上集中期前に期末を迎えること、財務体質の改善を優先させるため無配とさせていただきます。なお、株主様への利益還元は、経営の重要課題と認識している方針に変更はありません。

## 9. 株主優待制度

2021年9月期より、当社株主様の皆様の日頃のご支援に感謝するとともに、当社株式への投資の魅力をより一層高め、中長期的に保有していただける株主様の増加を図ることを目的として、株主優待制度を導入しております。2023年3月末からは付与するポイントを増額する形で拡充をいたします。

毎年3月末現在の当社株主名簿に記載又は記録された3単元（300株）以上保有の株主様を対象として、対象となる株主様の保有株式数に応じてポイントを贈呈いたします。初年度よりも次年度以降のほうが還元が多い仕組みを設けることで、中長期的に当社株式を保有いただける株主様へ、積極的に還元していく方針です。

ポイントは、「アクセスグループ・ホールディングス・プレミアム優待倶楽部」において、2,000点以上の商品からお好みの商品をお選びいただけます。また、当社の経営理念である「人や社会をベストな未来に導く」ことを株主優待制度でも形にするため、国内外の人たちに学びの機会を提供したり、命を守る取り組みを行っている公益法人等の社会貢献活動に対し、ポイントによる寄付もご選択いただけます。

【株主優待進呈ポイント数（2023年3月末変更後）】（1ポイント≒1円）

保有株式数	初年度	2年目以降※	贈呈時期
300株～499株	3,500ポイント	3,850ポイント	5月中旬
500株～599株	7,000ポイント	7,700ポイント	
600株～699株	10,000ポイント	11,000ポイント	
700株～799株	12,000ポイント	13,200ポイント	
800株～899株	15,000ポイント	16,500ポイント	
900～999株	18,000ポイント	19,800ポイント	
1,000株以上	20,000ポイント	22,000ポイント	

詳細は、以下の URL をご参照ください。

<https://accessghd.premium-yutaiclub.jp/>

- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements) を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招きうる不確実性を含んでおります。
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。
- 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。

以 上